

# バスケットボール

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会  
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 松岡中学校体育館 Bコート

試合区分: No. 10 少年女子 準決勝

期 日: 2018(H30)年10月3日(水)

開始時間: 11:55

終了時間: 13:25



主審: 岩木 太郎(京都府)

第1副審: 坂井佑季子(三重県)

第2副審: 吉田 智子(石川県)

宮崎 (九州)	○ 100	24 - 13 29 - 30 23 - 25 24 - 25 - - - -	● 93	北海道 (北海道)
------------	----------	--	---------	--------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		河内 綾	-	-	-	-	-	-	-
5		財部 舞	-	-	-	-	-	-	-
6	*	成崎 結	9	3	0	0	0	4	2
7	*	ムボムボ ムロロ ファーロン	45	0	18	9	2	16	0
8		江藤 涼	-	-	-	-	-	-	-
9	*	ウォーカー ライアン 純	10	0	4	2	0	6	6
10		吉元 美百合	-	-	-	-	-	-	-
11		井ノ口 なな子	9	1	2	2	1	4	1
12	*	日高 千保理	15	1	4	4	2	1	3
13	*	フェスターガード ヤヤ	10	0	5	0	3	7	7
14		老山 花希	2	0	1	0	1	1	1
15		江頭 璃梨	-	-	-	-	-	-	-
HC		前村 かおり / TEAM							
		合計	100	5	34	17	9	39	20

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		菅原 亜架音	-	-	-	-	-	-	-
5	*	山田 月南	9	1	2	2	1	8	9
6		畠山 愛花	16	2	5	0	4	2	7
7	*	東藤 なな子	0	0	0	0	0	0	0
8		岡本 唯奈	6	0	3	0	2	2	4
9		池田 朱里	0	0	0	0	0	0	0
10	*	関 ななみ	21	5	3	0	3	3	3
11	*	松永 夏海	31	5	6	4	4	10	4
12		澤本 瑠衣	-	-	-	-	-	-	-
13	*	籠山 萌菜	10	0	4	2	5	4	0
14		中村 華折	0	0	0	0	2	0	0
15		森岡 かりん	-	-	-	-	-	-	-
HC		永野 達矢 / TEAM							
		合計	93	13	23	8	21	29	27

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、宮崎県は2-3ゾーンディフェンス、北海道はマンツーマンディフェンスでスタート。宮崎県は、#6、#12の3Pと#7のポストプレイで、13-4とリード。ここで北海道がタイムアウト。直後、北海道は、#6のジャンプシュートと3P、#13が相手のパスミスから速攻を決め、追撃する。24-13で、第1ピリオド終了。  
第2ピリオド、高さで勝る宮崎県が、インサイドの#7にボールを集め、得点を重ねる。北海道は、#11、#10の3Pや、#8の速攻で応戦するが、残り4分、パスミスが2本続いたところから2回目のタイムアウト。その後、宮崎県は、#7のポストプレイ、リバウンドシュートでさらに得点し、53-43で前半終了。  
第3ピリオド、宮崎県は、開始1分で相手に8点先取られ、たまたまタイムアウト。逆に、北海道も、宮崎県の#12に絡めてミドルシュートを決められ、60-50とリードされ、すかさずタイムアウト。その後、一進一退の攻防が続く。残り2分20秒で、北海道#13が、6ファウルで退場。いやなムードになるところを踏みとどまり、76-68で終了。  
第4ピリオド、宮崎県は#13の個人技、#7のポストプレイやリバウンドで得点を重ねる。これに対して、北海道は速いパス回しから#10、#6の3Pとオールコートからの激しいディフェンスで、一時は2点差まで詰め寄るが、最後は宮崎県#7のポストプレイ、リバウンドシュートにやられ、100-93で宮崎県が決勝に駒を進めた。粘り強いディフェンスと攻守の切り替えの早さを武器に最後まで戦った北海道の健闘を称えたい。

担当者: 齊藤 利秋((一社)福井県バスケットボール協会) (公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

